

1.2 河川の概要

水系を構成する日光川と10の一次支川を表－1に示す。

表－1 日光川水系の河川

河川名	日光川	野府川	光堂川	領内川	三宅川	目比川	蟹江川	福田川	善太川	宝川	戸田川
河川延長 (km)	41.3	7.3	4.9	12.6	10.6	4.8	10.2	16.2	12.0	1.1	7.2
流域面積 (km ²)	299.0 (88.3)	27.4 (22.1)	18.8	33.1 (28.5)	14.4	15.2	16.8 (14.6)	33.5 (31.2)	20.4	19.7	11.3

() : 支川を除く流域面積

日光川

日光川は河川の特徴から、上流部（二級河川上流端～野府川合流点）、中流部（野府川合流点～三川合流点（領内川、三宅川合流点））、河口・下流部（三川合流点（領内川、三宅川合流点）～河口）の3つに分けられる。

上流部は、概ね掘込河道で川幅は狭く、河床勾配は1/2,500～1/500であり、流れは中・下流部に比べ速い。河床材料は砂やシルトで、一部に礫も見られ、寄州が発達する区間もあるが単調な河道となっている。河道は最上流部を除き矢板及びコンクリートブロック護岸で整備され、沿川は住宅地と工場が広がっている。

中流部は、概ね有堤河道で川幅が広く、河床勾配は1/5,000～1/3,000であり、流れは緩い。河床材料は砂やシルトで、瀬や淵が見られない単調な河道となっている。20km付近の天王橋から23km付近の北今橋までは強制排水区域と自然排水区域が混在する。河道は矢板護岸で整備され、沿川は水田が多く、畑地が点在する。

河口・下流部は、概ね比高差3m以上の有堤河道で川幅が広く、河床勾配が水平～1/5,000であり、流れは緩い。河床材料は砂やシルトで直線的な河道となっている。昭和30年代後半から昭和40年代にかけて地下水の揚水に伴い地盤沈下が進行した結果、全域が海拔ゼロメートル地帯となり、ポンプによる強制排水を行っている。河道は矢板護岸で整備され、沿岸には水田が多く残されているが、近年徐々に都市化が進行している。河口部には高潮対策として、水閘門及び日光川排水機場等が整備されている。



写真－2 日光川上流部



写真－3 日光川中流部



写真－4 日光川下流部



写真－5 日光川河口

野府川

野府川は、一宮市木曽川町地内で右支川北古川を合わせ、一宮市三条地内で日光川に合流する河川延長約7.3km、川幅5～30mの河川である。河道は主に矢板及びコンクリートブロック護岸で整備されており、掘込河道で、沿川には主に市街地が広がっている。



写真－6 野府川

光堂川

光堂川は、稲沢市片原一色町地内で日光川に合流する河川延長約4.9km、川幅5～20mの河川である。河道は主に石積み護岸で整備されており、掘込河道で、沿川には主に水田や畑地が広がっている。



写真－7 光堂川

領内川

領内川は、愛西市町方町地内で右支川新堀川を合わせ、稲沢市平和町地内で日光川に合流する河川延長約12.6km、川幅5～40mの河川である。河道は主に矢板護岸で整備されており、河口から広口池（10.8km）までは有堤河道、それより上流は掘込河道で、沿川には市街地や水田、畑地が広がっている。



写真－8 領内川

三宅川

三宅川は、愛西市勝幡町地内で日光川に合流する河川延長約10.6km、川幅10～20mの河川である。河道は主に矢板及びコンクリートブロック護岸で整備されているが、自然が残されている区間もある。河口から約5.0kmまでは有堤河道、それより上流は掘込河道で、沿川には市街地や水田、畑地が広がっている。



写真－9 三宅川

目比川

目比川は、津島市宇治町地内で日光川に合流する河川延長約4.8km、川幅10～30mの河川である。河道は主に矢板及びコンクリートブロック護岸で整備されているが、自然が残されている区間もある。河口から約3.0kmまでは有堤河道、それより上流は掘込河道で、沿川には市街地や水田が広がっている。



写真－10 目比川

蟹江川

蟹江川は、蟹江町須成地内で左支川小切戸川を合わせ、蟹江本町地内で日光川に合流する河川延長約10.2km、川幅10～110mの河川である。河道は主に矢板及びコンクリートブロック護岸で整備されており、有堤河道で、沿川には市街地や水田が広がっている。



写真－11 蟹江川

福田川

福田川は、大治町西條地内で左支川西條小切戸川を合わせ、港区新茶屋地内で日光川に合流する河川延長約16.2km、川幅10～110mの河川である。河道は主に矢板及びコンクリートブロック護岸で整備されており、河口から約12.8kmまでは有堤河道、それより上流は掘込河道で、沿川には市街地や水田が広がっている。



写真－12 福田川

善太川

善太川は、蟹江町鍋蓋新田地内で日光川に合流する河川延長約12.0km、川幅10～100mの河川である。河道は有堤区間である下流部ではコンクリートブロック護岸、上流部が矢板護岸で整備されているが、中流部には自然が残されている区間もある。中上流部は掘込み河道であり、沿川には市街地や水田が広がっている。

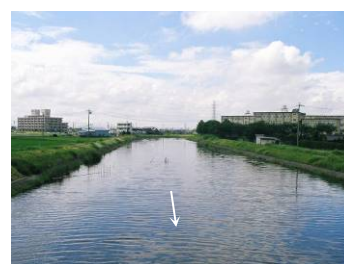


写真－13 善太川

戸田川

戸田川は、名古屋市港区小川地内で日光川に合流する河川延長約7.2km、川幅40～80mの河川である。河道は主にコンクリートブロック護岸で整備されており、掘込河道で、沿川には市街地や水田が広がっている。

(平成23年4月より名古屋市が管理している)



写真－14 戸田川